

2023年（令和5年）度事業計画

（2023年1月1日から12月31日まで）

公益財団法人ダイترون福祉財団 理事長 高本 敬

＜計画の骨子＞

〔after/with コロナ時代における障害者福祉〕

過去3年間のコロナ禍による傷跡は大きく、特に社会的弱者である障害者の方々や日夜障害者の方々のご支援に苦勞しておられる福祉施設の職員の方々の、日常の活動と生活へのインパクトの大きさは計り知れません。コロナ禍の完全終息は当面難しいかも知れず、暫くはコロナとの共存状態で社会、経済活動の回復努力が必要になる可能性大です。微力ながら、当財団はこの状況を踏まえて、少しでも障害者福祉の現状の回復、改善に役立つ助成活動を推進することが最も重要な事と考えます。

「この子らを世の光に」「真心こめたふれあいと助け合い」の基本に戻り、当財団ができること

滋賀県では「障害者差別のない共生社会づくり」に向けて努力を続け、諸施策を実施しています。身体、知的、精神などなどその他心身に障害のある方々が、健常者同様に、差別なく誰もが暮らしやすい社会を築くことが重要です。法律や規則も大切ですが、もっと必要なのが「相互理解」をベースとした「合理的配慮」に基づく行動、活動であると信じます。人とのふれあい・日常生活に、相手に対する配慮、真心のこもった思いやりが基本にあれば、障害のあるなしに関わらず誰もがより住みやすい社会に近づくことになるのは自明の理です。財団の助成事業を実施していくのも、この精神が助成先に伝わるような、障害者の方々の気持や希望に寄り添った助成活動となるよう努力を傾ける所存です。

2023年（令和5年）度の事業計画骨子

1. 第22回助成事業の助成金予算を総額7,500万円とする。（前年実績約7,100万円）
2. コロナ禍により2年間中断を余儀なくされた助成金贈呈式を昨年は3年ぶりに再開できた。引き続き2023年度も、財団設立以来22回目となる「第22回助成金贈呈式」を開催の予定。
3. 障害者の就労支援や文化・スポーツ振興を支えている団体で、特に先進的な取組みを推進している団体に対して積極的な支援を行う。（選考委員会へ該当情報提供等を進める）
4. 国内の株式・債券市場が厳しい環境下、ファンドラップ、米ドル債券の活用等を含めて、引き続き慎重且つ効果的な資産運用活動に努める。
5. 財団業務の効率化と、データベース作成のため、前年に引き続きIT技術を活用して財団業務の更なるシステム化を促進して、3年後の助成申請のWEB申請化を推進する。

＜助成事業計画の内容 – 7,500万円の募集を実施する＞

1. 障害福祉サービス事業所等に対する物品購入等に対する助成事業（第1号事業）
 - (1) 助成対象：滋賀県内の障害福祉サービス事業所に対して設備整備及び物品購入資金を助成する
 - (2) 助成金額：1件150万円以内とし総額5,000万円以内とする。
 - (3) 助成範囲：各助成案件の総事業費の80%以内を助成することとする。
2. 障害者の社会参加の促進と生活向上等に寄与する調査研究のための助成を行う。（第2号事業）
 - (1) 助成対象：滋賀県内の障害福祉サービス事業所および社会福祉法人、公益法人等
 - (2) 助成金額：総額300万円以内とする。
3. 特別助成事業（第3号事業）
 - (1) 助成対象：1及び2号事業に含まれない（または1及び2号事業の枠を超える）事業で、障害者福祉に寄与する施設・団体に特別の助成を行う
 - (2) 助成金額：総額2,200万円以内とする。

1,2,3号事業 合計 7,500万円

【助成対象団体の選考と助成金の交付】

・3月に募集を実施、5月の選考委員会で選考後に6月の理事会で最終決定し、9月に第22回助成金贈呈式を開催して、助成先である障害福祉サービス事業所に助成金を贈呈する。
4. 広報活動事業（第4号事業）－ダイترون福祉財団の助成活動等の情報提供
 - (1) 令和2年度に開設済みの当財団のウェブサイトを活用して、法人情報の公開、助成金の募集情報の提供、寄付金の募集等を実施する。
 - (2) 年刊紙「ダイترون福祉だより」を発行（1,500部）、助成金の活用情報、寄附者名簿等を掲載。
 - (3) 郵便、ウェブサイト、Eメールの活用による賛助会員の募集、寄附金の募集活動を推進。
 - (4) 県・県下社協、県共同募金会等の福祉関係機関、また他財団との情報、意見交換を実施。（以上）